

## 第2次ズーストック計画のこれまでの取組状況について（2019年～2021年）

東京都建設局公園緑地部計画課  
2022年6月

### ■第2次ズーストック計画の概要

第2次ズーストック計画は、都立動物園・水族園（建設局所管の恩賜上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園、井の頭自然文化園及び環境局所管の大島公園動物園）を取り巻く状況の変化を踏まえ、平成元（1989）年度に策定した「ズーストック計画」を大幅に見直し、平成30（2018）年に策定された計画である。

124種の動物を対象とし、種それぞれに「飼育繁殖」「保全情報」「普及啓発」の3つの分野について、10年後の目標を設定し、それに向かって計画を立案し進めていく。

#### （1）飼育繁殖

計画的な繁殖と種の適正管理を推進し、国内外の野生動物保全に取り組む関係機関等との連携を強化しながら、種の保存に取り組む。

#### （2）保全情報

生物学的情報や保全取組情報を整理し、生息域外保全及び生息域内保全に貢献する。飼育マニュアルを策定し、都立動物園で培ってきた飼育繁殖技術等を維持していく。

#### （3）普及啓発

ズーストック種を活用した様々な環境学習や情報発信に取り組む。また、都立動物園等が将来の野生動物保全の担い手を育む場となるべく、効果的な環境教育や野生動物保全の普及啓発を推進する。

### ■これまでの取組状況について

上記（1）～（3）の項目について、その目標達成に向けて毎年、計画の作成及び実施状況の確認を行っている。計画対象の全124種について、これまでの成果などを以下のとおり報告する。

## ■2019年の取組について

### (1) 飼育繁殖について

希少種を飼育下で持続的に維持していくためには、飼育繁殖技術を確立・継承し、発展させていく必要がある。この目標に向かって各園の役割を定め、計画に沿った取組を始めた。その結果、繁殖を目指していた種のうち、哺乳類 16 種(コアラ、アムールトラ等)、鳥類 19 種(オウサマペンギン、トキ等)、両生類 8 種(イボイモリ、カジカガエル等)、魚類 4 種(ミヤコタナゴ等)、無脊椎 3 種(オガサワラシジミ等)の計 50 種類の繁殖に成功した。

《主な取組実績例》

- ・アジアゾウの妊娠を確認（上野動物園）
- ・ライチョウの累代飼育に成功（上野動物園）
- ・8年ぶりにコアラおよびアムールトラの繁殖に成功。（多摩動物公園）
- ・アカガシラカラスバトの自然孵化、自然育雛に初めて成功。（多摩動物公園）

### (2) 保全情報について

域内・域外保全活動ではアカハライモリの生息地調査、観察会、保全地での課外授業や、オガサワラシジミの生息地の支援活動など計画に沿った活動を実施した。

《主な取組実績例》

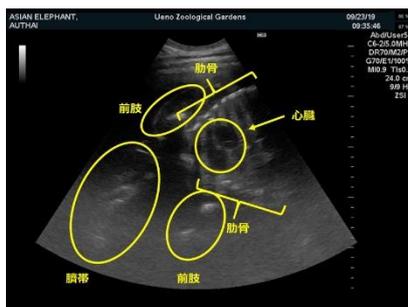
- ・オガサワラシジミの生息域外個体群の分散飼育開始にあたり、21 個体を環境省に譲渡し、飼育繁殖にかかる技術指導も実施。（多摩動物公園）

### (3) 普及啓発について

全種において普及啓発のベースとなる情報の整理を行い、これを基に情報ラベルやホームページなどを利用して情報発信を行った。

《主な取組実績例》

- ・ライチョウの一般公開を開始し、ボランティア及び富山県ライチョウ研究会と連携した特別ガイド等を実施。（上野動物園）
- ・コアラの来園 35 周年記念として事前募集型ワークショップ、クイズ大会、パネル掲示を実施。（多摩動物公園）
- ・「リスの小径」オープン 30 周年を記念した「文化園春のリスまつり」でこどもから大人まで様々な来園者層を対象としたイベントを実施。（井の頭自然文化園）
- ・カタマイマイの飼育管理の様子を公開し、解説を行うスポットガイドを試行。（井の頭自然文化園）



アジアゾウの超音波診断(上野)



アムールトラの繁殖(多摩)



リスの小径(井の頭)

## ■2020年の取組について

### (1) 飼育繁殖について

繁殖を目指していた種のうち、哺乳類12種(アジアゾウ、オランウータン等)、鳥類12種(オウサマペンギン、トキ等)、両生類8種(イボイモリ、カジカガエル等)、魚類5種(ミヤコタナゴ等)、無脊椎3種(オガサワラシジミ等)の計40種類の繁殖に成功した。このうち5種(マヌルネコ、コウノトリ等)については繁殖仔が死亡し、成長には至らなかった。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、動物の移動が延期になるなど、繁殖計画の一部が計画通りに進められない種があった。

《主な取組実績例》

- ・開園以来初のアジアゾウの自然繁殖に成功。(上野動物園)
- ・トキの飼育を開始して以降初めて、飼育職員が介助せず自然孵化に成功。(多摩動物公園)

### (2) 保全情報について

域内・域外保全活動ではライチョウの中央アルプス木曾駒ヶ岳の生息地における支援活動として有精卵を提供するなどの活動を実施した。また、前年に実施したアカハライモリの生息地調査、観察会、保全地での課外授業も継続して行った。

《主な取組実績例》

- ・多摩動物公園と韓国教員大学の間で「ナベコウおよびコウノトリの保全に関する了解覚書」を取り交わした。(多摩動物公園)
- ・オガサワラシジミの交尾法試行実施。生殖巣凍結保存プロジェクトへ協力。(多摩動物公園)
- ・都立公園等のかいぼりの際にミナミメダカのサンプル採取及び調査実施。(葛西臨海水族園)

### (3) 普及啓発について

新型コロナウイルスによる臨時休園の影響を受け、イベント、ガイドツアー、キーパーズトークの実施が困難な状況が続いたが、TwitterなどWebを活用した情報発信など様々なツールを用いて計画に代わる取組が実施された。その結果、多くの取組で情報発信などの普及啓発の取組を進めることができた。

《主な取組実績例》

- ・オーストラリア森林火災復興支援のため募金活動を実施し、募金活動の報告と現地の様子を写真で伝えるパネル展を開催。(多摩動物公園)
- ・来園者の感染予防対策を図りながら短時間のガイドを行った。また、丑年に当たり園内動物舎前と市民向け講座で、野生のウシ科動物であるカモシカの情報提供を行った。(井の頭自然文化園)
- ・アルダブラゾウガメの引っ越しの様子などをSNS等で情報発信した。個体の特徴や生態などの情報を秋の特別パネル展示で発信した。(大島公園動物園)



アジアゾウの親子(上野)



オガサワラシジミ(多摩)



ゾウガメの引っ越し(大島)

---

## ■2021年の取組について

---

### (1) 飼育繁殖について

繁殖を目指していた種のうち、哺乳類 13 種(コアラ、ジャイアントパンダ等)、鳥類 20 種(ライチョウ、オウサマペンギン等)、両生類 8 種(イボイモリ等)、魚類 4 種(ムサシトミヨ等)、無脊椎 2 種(アナカタマイマイ等)の繁殖に成功した。このうち 5 種で繁殖仔が死亡し、仔の成長には至らなかった。また、産卵のみが確認され孵化に至らなかった事例が 10 種で認められた。繁殖においては、人工授精に向けた取り組みも数種で見られ、チンパンジーおよびライチョウでは人工授精に成功した。

《主な取組実績例》

- ・ジャイアントパンダおよびマヌルネコが繁殖し、仔が順調に成長。(上野動物園)
- ・コアラが繁殖、チンパンジーが人工授精に成功。(多摩動物公園)
- ・オウサマペンギンで人工孵化、人工育雛で育成中。(葛西臨海水族園)
- ・アムールヤマネコの新規個体導入。(井の頭)

### (2) 保全情報について

他機関への協力や共同研究も多く実施され、感染症の調査や DNA の解析に協力した。これら共同研究などの一部については、研究会や投稿論文などで成果を発表した。

域内・域外保全活動については、アイアイやジャイアントパンダ、モウコノウマで保護資金の拠出を通して現地の保全活動に貢献した。コロナ禍においても、アカハライモリの生息地調査、観察会、保全地での課外授業を継続して実施した。

《主な取組実績例》

- ・国内のコアラの感染症に関する調査に協力。(多摩動物公園)
- ・ウミガラス、エトピリカについて遺伝的多様性に関する共同研究を締結。また、刺し網による海鳥混獲の削減を目指した共同研究を実施。(葛西臨海水族園)
- ・傷病受入個体のカラスバトについて DNA 配列を解析。これまでの飼育個体にはないタイプであることが判明。飼育下における個体群形成のための遺伝的多様性が保持された。(大島公園動物園)

### (3) 普及啓発について

新型コロナウイルス感染防止対策の影響を考慮した計画が多く、来園者への対面イベント、ガイドツアー、キーパーズトークの実施がほとんどできない状況であったため、それに代わる情報発信の取組として、Twitter などの SNS や東京ズーネットを利用した情報発信による取り組みが多く見られた。また、オンライン参加型の講演会なども多く開催され、コロナ禍におけるイベントに前年以上の工夫が見られた。

《主な取組実績例》

- ・ジャイアントパンダの双子誕生に関する情報提供を多数実施。(上野動物園)
- ・東京 Zoovie、YouTube チャンネルの「とっておきトーク」映像を配信。「世界キツネザルの日」にイベントを実施したり、ズーネットニュースや SNS で動画や情報を飼育園と教育普及センターが連携して配信した。(上野動物園、大島公園動物園)
- ・円山動物園とゾウに関する教育研究活動の拡充に向けた連携・協働に関する協定を締結。在日スリランカ大使館主催オンラインイベントに協力。(多摩動物公園)

- ・ ツシマヤマネコについて感染予防対策を図りながら、飼育員による解説を行ったり、写真や動画を Twitter 等で配信した。参加型イベント「ヤマネコ祭」の代替として、資料館特設展示場にてヤマネコ保全の普及啓発パネル展を開催。ウェブ上での参加型ヤマネコフォトコンテストを開催。ヤマネコ講演会はオンラインでの開催となり、対馬野生生物保護センターとのリモート中継により現地での保護活動などを紹介した。(井の頭自然文化園)
- ・ 5月世界のカメの日に合わせて、動物園協会と協力しゾウガメの生態と保全に関する動画を発信した。また、展示場の種ラベルも内容を最新の情報にしてリニューアルした。(大島動物公園)



マヌルネコの親子(上野)



コアラの親子(多摩)



アムールヤマネコの導入と公開  
(井の頭)



オオサマペンギンの誕生  
(葛西)



ジャイアントパンダ情報提供  
(上野)



「とっておきトーク」動画配信  
(上野、大島)

○全 124 種の取組状況一覧

	科	ブーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
1	コアラ科	コアラ	多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本動物園水族館協会の移動計画に基づいた個体の移動を行い、繁殖に取り組んだ結果、これまでに2頭の出産が確認されている。</li> <li>国内のコアラの感染症に関する調査に協力。</li> <li>オーストラリア森林火災支援の募金活動を実施。</li> </ul>
2	ゾウ科	アジアゾウ	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年にウタイの妊娠を確認。2020年に出産し仔は成長中。</li> </ul>
3	ゾウ科	スリランカゾウ	多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年に新アジアゾウ舎「アジアゾウのすむ谷」が完成し、公開。</li> <li>札幌市円山動物園と、動物（ゾウ）に関する教育研究活動の拡充に向けた連携・協働に関する協定を締結。</li> </ul>
4	ゾウ科	アフリカゾウ	多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>オス1頭の飼育になっており、メスの導入を検討中。</li> </ul>
5	キツネザル科	クロキツネザル	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに繁殖した繁殖仔を他園に搬出するなどし、適正飼育数を維持。</li> </ul>
6	キツネザル科	ワオキツネザル	上野 大島	<ul style="list-style-type: none"> <li>大島では毎年安定した繁殖が見られ、上野でも計画的な個体管理が実施されている。</li> <li>「世界キツネザルの日」には他のキツネザル類とも連携した情報発信を各園で実施。</li> </ul>
7	キツネザル科	クロシロエリマキ キツネザル	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した個体群を維持するため、繁殖制限を実施。</li> </ul>
8	アイアイ科	アイアイ	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>マダガスカルの保全活動に参画。保護資金の拠出を通して現地の保全活動に貢献。</li> </ul>
9	ロリス科	レッサースロー ロリス	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年に繁殖に成功。日本動物園水族館協会の計画に基づいた個体の移動を行い繁殖に取り組んでいる。</li> </ul>
10	オマキザル科	ワタボウシタマリン	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼育個体が血縁関係にあるため、繁殖制限を行ってきたが、2021年に血縁の無いオスを導入した。</li> </ul>
11	オナガザル科	ブラッサグエノン	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年に繁殖に成功し、仔が成育。</li> </ul>
12-1	オナガザル科	ホンダザル	多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>個体の導入から50年以上が経過しており、近親交配が進んでいるため、繁殖制限を行っている。</li> </ul>
12_2	オナガザル科	ホンダザル (下北個体)	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>一定の展示頭数を維持。</li> <li>2020年に下北ジオパーク推進協議会及び(公社)むつ市観光協会と共同でイベント「下北ジオパーク in 上野動物園」を実施。</li> </ul>
13	オナガザル科	アビシニアコロブス	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な血統管理を行い2郡に分けて飼育。うち1群で繁殖の取組を継続。</li> </ul>
14	テナガザル科	シロテテナガザル	上野 多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本動物園水族館協会の計画に基づき適切な血統管理を行い、飼育頭数を維持。</li> </ul>
15	ヒト科	ニシゴリラ	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年にメス1頭の妊娠を確認。</li> </ul>
16	ヒト科	チンパンジー	多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年に人工授精による妊娠を確認。</li> <li>「世界チンパンジーの日」にはイベントを実施。</li> </ul>
17	ヒト科	ボルネオオランウー タン	多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>他個体との同居が困難だった人工哺育個体を他園より受け入れ、メス2頭との同居に成功。</li> <li>生息地保全を目的とした団体の募金箱設置を継続。</li> </ul>
18	リス科	ニホンリス	上野 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>井の頭では累代飼育に成功している。</li> </ul>
19	ネズミ科	アマミトゲネズミ	上野 ↓ 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年3月で上野動物園の飼育終了。2020年7月に井の頭で飼育開始。</li> </ul>
20	オオコウモリ科	オリイオオコウモリ	上野 井の頭 大島	<ul style="list-style-type: none"> <li>上野では累代飼育に成功している。各園、適正個体群を維持。</li> </ul>
21	センザンコウ科	ミミセンザンコウ	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>メス1頭の単性飼育が続いている。オスの導入を検討中。</li> </ul>
22	ネコ科	アフリカチーター	多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>繁殖仔が順調に成育。</li> </ul>
23	ネコ科	マヌルネコ	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>繁殖仔が順調に成育。</li> </ul>
24	ネコ科	ベンガルヤマネコ	上野	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年に飼育個体が死亡。入手の可能性について調査中。</li> </ul>
25_1	ネコ科	アムールヤマネコ	井の頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年11月に1ペアを導入。</li> </ul>

	科	ズーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
25_2	ネコ科	アムールヤマネコ (ツシマヤマネコ)	井の頭	・毎年10月に「ヤマネコ祭り」と題したイベントを実施。2020年以降は新型コロナウイルス感染症の影響で参加型のイベントは実施できないが、ヤマネコ祭りの代替イベントとして、2021年はオンライン講演会を実施。
26	ネコ科	ライオン	多摩	・繁殖仔が順調に成育。 ・新しいライオンバスステーションが2021年オープン。
27	ネコ科	アムールトラ	多摩	・繁殖仔が順調に成育。
28	ネコ科	スマトラトラ	上野	・日本動物園水族館協会の計画に基づいた個体の移動を行い、繁殖に取り組んでいる。
29	ネコ科	ユキヒョウ	多摩	・ペアリングを実施し、交尾は確認されるが妊娠には至らず。
30	イヌ科	ヨーロッパオオカミ	多摩	・飼育環境に適した個体数の飼育を維持している。
31	イヌ科	フェネック	井の頭	・繁殖仔が順調に成育。
32	クマ科	ジャイアントパンダ	上野	・繁殖仔が順調に成育。 ・出産後は情報提供の頻度を大幅に増加して、動画等の発信を行った。
33	クマ科	マレーグマ	上野	・メスのみの単性飼育が続いている。新規個体導入に向けた情報を収集している。
34	クマ科	ホッキョクグマ	上野	・交尾行動は確認されるが、妊娠には至っていない。
35	クマ科	ニホンツキノワグマ	上野 多摩	・飼育下での冬眠に取り組み、上野では冬眠している状態を展示。
36	イタチ科	ホンドテン	井の頭	・飼育環境に適した個体数の飼育を維持している。
37	レッサーパンダ科	シセンレッサーパンダ	上野 多摩 大島	・多摩および大島で繁殖に成功。 ・上野では2020年より新施設で飼育展示開始。
38	ウマ科	モウコノウマ	多摩	・モンゴルでモウコノウマの野生復帰プロジェクトを進める国際タヒグループ (ITG) に資金協力。
39	ウマ科	グレビーシマウマ	多摩	・飼育施設建設中。仮収容施設で適正に飼育管理。
40	バク科	マレーバク	多摩	・2019年の繁殖仔が順調に成育。2021年のペアリング後、腹部超音波画像検査により胎児を確認した。
41	サイ科	ヒガシクロサイ	上野	・ホルモン測定を行い同居のタイミングを見計らっている。
42	サイ科	インドサイ	多摩	・交尾行動は確認されているが、妊娠には至っていない。
43	カバ科	コビトカバ	上野	・2021年末現在メスのみの単性飼育になっている。オス個体の導入を検討中。
44	カバ科	カバ	上野	・ホルモン分析を実施し、排卵を確認している。定期的に同居を実施し繁殖に取り組んでいる。
45	ウシ科	バーバリーシープ	上野 大島	・大島では毎年繁殖に成功している。上野では適正個体数を維持している。
46	ウシ科	ゴールデンターキン	多摩	・2018年、2019年に繁殖に成功。新型コロナウイルス感染症の影響で海外への搬出計画が停滞している。
47	ウシ科	ニホンカモシカ	上野 多摩 井の頭 大島	・井の頭と大島では繁殖に取り組み、2021年に大島で出産したが、2ヶ月齢で仔が死亡。
48	ウシ科	シロオリックス	多摩	・飼育施設建設中。仮収容施設で適正に飼育管理。
49	カモ科	コクガン	多摩	・国内飼育は多摩のメス2羽のみ。オスの導入を検討中。
50	カモ科	ハワイガン	大島	・2019年に繁殖に成功して以降、産卵はするが孵化には至っていない。
51	カモ科	シジュウカラガン	上野 多摩 井の頭	・各園とも適度な飼育個体数が維持できるように計画的に繁殖させている。
52	カモ科	ヒシクイ	多摩	・血縁関係個体同士の飼育となっている。新たな個体導入を検討中。
53	カモ科	マガン	多摩	・東京文化財ウィークに解説ポストカードを配布。
54	カモ科	カリガネ	多摩 井の頭	・孵化した雛が成育。

	科	ズーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
55	カモ科	オシドリ	多摩 井の頭 大島	・各園適切な個体管理を行い、飼育を継続。血統を考慮した繁殖計画に基づき、2021年に井の頭で繁殖。
56	カモ科	トモエガモ	井の頭	・2018年に飼育個体が死亡。国内に飼育園は少なく、導入に向けた情報収集中。
57	キジ科	ライチョウ	上野	・2021年には人工授精による繁殖に成功。 ・環境省との保護増殖事業を日本動物園水族館協会や大学と協力して実施。これまでに飼育下の繁殖や有精卵を野生個体に移植して抱卵させるなど域内、域外の保全活動に貢献。 ・講演会を実施するなど普及啓発に努めた。コロナ禍においてもホームページなどで積極的に情報発信を実施。
58	キジ科	ニジキジ	多摩	・産卵は確認されているが、孵化には至らない。
59	キジ科	コサンケイ	上野 多摩	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、必要に応じて繁殖に取り組んでいる。
60	キジ科	パラワンコクジャク	上野 多摩 井の頭	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、必要に応じて繁殖に取り組んでいる。
61	ペンギン科	オウサマペンギン	葛西	・飼育繁殖技術は確立されている。2021年は人工育雛で成育。 ・コロナ禍においてもペンギン類に関するオンライン講演会を実施。
62	ペンギン科	ケープペンギン	上野	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、血統に考慮した繁殖に取り組み、孵化・成育に至っている。
63	ペンギン科	フンボルトペンギン	葛西 井の頭	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、血統に考慮した繁殖に取り組み、孵化・成育に至っている。
64	フラミンゴ科	オオフラミンゴ	多摩 大島	・鳥インフルエンザや新型コロナウイルスの感染拡大のため、他園への搬出に影響が出た。適正飼育頭数を維持しながら計画的な繁殖に取り組んでいる。
65	フラミンゴ科	ベニイロフラミンゴ	上野	・血統管理に配慮しながら自然繁殖に取り組んでいる。2021年に孵化したが、成育には至らなかった。
66	コウノトリ科	ナベコウ	多摩	・コウノトリを仮親とした自然育雛に取組み、巣立たせることに成功。
67	コウノトリ科	コウノトリ	上野 多摩 葛西 井の頭	・コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネルの計画に従って、多摩での繁殖に取り組んでいる。各園適切な個体管理を行い、飼育を継続。 ・コウノトリ保全セミナーを実施するなど普及啓発に努めた。
68	トキ科	ホオアカトキ	上野 多摩	・血統に配慮して計画的な繁殖に取り組み、孵化・成育に至っている。
69	トキ科	トキ	多摩	・これまでに83羽の雛を佐渡へ搬出した。この中には野生復帰した個体も含まれており、野生復帰事業の推進に貢献している。 ・2020年より多摩動物公園ウォッチングセンター内に常設でトキの保全活動を紹介する解説を設置。
70	トキ科	ショウジョウトキ	多摩 大島	・適正個体数の維持を考慮し、計画的な繁殖に取り組んでいる。2019年以降、多摩動物公園では自然育雛に成功している。
71	ハシビロコウ科	ハシビロコウ	上野	・行動観察やホルモン測定などペアリングのタイミングの見極めに努めている。 ・「生物の科学 遺伝」2021年9月発行号に寄稿し、飼育の成果を発表。
72	コンドル科	コンドル	上野	・2016年産まれの個体を搬出後、次期繁殖に取り組む。
73	タカ科	コシジロハゲワシ	上野	・2012年産まれの個体を搬出後、次期繁殖に取り組む。
74	タカ科	ダルマワシ	上野 多摩	・各園ともに単性飼育となっており、新規個体の導入を検討中。
75	タカ科	クマタカ	上野	・繁殖した個体を搬出後、次期繁殖に取り組む。
76	タカ科	イヌワシ	多摩	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、他園との個体移動に協力。2021年、孵化した雛が成育。

	科	ブーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
77	タカ科	ツミ	上野 井の頭 大島	・メスのみの飼育となっており、オスの導入を検討中。
78	タカ科	オジロワシ	多摩 大島	・各園繁殖に取り組んでいるが、いずれの園も繁殖に至っていない。
79	タカ科	オオワシ	上野 多摩	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、飼育・繁殖に取り組んでいる。
80	タカ科	ノスリ	上野 大島	・大島の飼育個体は飛翔不可の傷病鳥のため、交尾行動が難しい状況。
81	ツル科	ソデグロヅル	多摩	・人工授精技術が確立しており、2021年も人工授精に成功。
82	ツル科	マナヅル	多摩 井の頭 大島	・日本動物園水族館協会の計画に基づき、必要に応じて繁殖に取り組む。
83	ツル科	タンチョウ	上野 多摩 葛西 井の頭	・日本動物園水族館協会の計画に基づき繁殖を制限している。各園の飼育個体は適切に管理。必要に応じて移動や繁殖に取り組む準備ができています。
84	ツル科	オグロヅル	上野 多摩	・上野でメス1羽の単性飼育となっており、国内に6羽しか飼育されていない状況。繁殖計画を調整中。
85	ウミスズメ科	ウミガラス	葛西	・日本動物園水族館協会の計画に基づき繁殖に取り組んでいる。 ・東京動物園友の会の観察会や北海道海鳥センターの海鳥フェスティバルなど、環境省や羽幌町と連携した普及啓発を展開している。
86	ウミスズメ科	エトピリカ	葛西	・自然抱卵・自然育雛した雛が成育。
87	ハト科	カラスバト	上野 多摩 井の頭 大島	・2021年に大島で受け入れた傷病個体のハプロタイプを解析。これまでの飼育個体とは異なるタイプであることが判明。
88	ハト科	アカガシラカラスバト	上野 多摩 井の頭	・多摩、上野は自然繁殖に成功している。 ・野生個体群の遺伝的多様性を解明するため、野生個体のミトコンドリアDNA解析を実施。
89	ハト科	シラコバト	上野	・飼育メス個体は来園以来10年以上繁殖実績が無く、新規メス個体の導入が必要と考えられる。
90	フクロウ科	オオコノハズク	上野 多摩 井の頭 大島	・各園の役割と状況に応じて適切な個体管理を行い、飼育を維持している。
91	フクロウ科	ワシミミズク	多摩	・繁殖に取り組んでいるが、産卵には至っていない。
92	フクロウ科	フクロウ	上野 多摩 井の頭 大島	・各園の役割と状況に応じて適切な飼育管理を行った。産卵するが孵化には至っていない。
93	オオハシ科	オニオオハシ	上野 大島	・産卵するが孵化には至っていない。
94	ハヤブサ科	ハヤブサ	井の頭 大島	・産卵したが孵化には至っていない。
95	カラス科	ルリカケス	上野	・孵化した雛が成育。 ・生息域内調査を研究者と連携して実施。 ・龍郷町教育委員会主催の、鹿児島市平川動物公園、奄美野鳥の会との共同イベント企画は、コロナ感染症の影響により2年連続で中止。
96	リクガメ科	アルダブラゾウガメ	大島	・交尾が確認されたことはあるが、産卵には至らず。 ・ホルモン測定を大学と連携して行い、繁殖計画の参考にしていく。
97	クロコダイル科	ニシアフリカコガタ ワニ	上野	・2018年に繁殖に成功。計7頭がふ化し、6頭が成育。うち1頭を他園へ移動。
98	ワニトカゲ科	チュウゴクワニトカゲ	上野	・2018年に1頭出産するが、死産。冬眠処理による繁殖を試みているが、交尾行動には至っていない。

	科	ズーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
99	サンショウウオ科	トウキョウサンショウウオ	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。井の頭では繁殖に成功。
100	イモリ科	アカハライモリ	上野 多摩 葛西 井の頭	・各園安定した個体群の維持を実施している。 ・飼育個体にマイクロチップを挿入。個体識別を開始。 ・城内保全地での観察会や近隣の小中学生を対象に出張授業などを実施。
101	イモリ科	イボイモリ	上野	・継続して繁殖に成功。
102	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	上野 多摩 葛西 井の頭	・各園で繁殖しており、飼育環境に適した個体数の飼育を維持している。 ・多摩動物公園内の産卵状況を確認し、亜種間交雑の発生状況について遺伝子解析を利用して調査。
103	アマガエル科	ニホンアマガエル	上野 葛西 井の頭	・各園とも保全個体群での繁殖に至っていない。
104	アカガエル科	ニホンアカガエル	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。繁殖している。
105	アカガエル科	トウキョウダルマガエル	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。繁殖している。
106	アカガエル科	ツチガエル	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。血統に配慮した繁殖計画を実施し、繁殖させている。 ・腹腔内にマイクロチップを挿入し、個体識別を実施。
107	アカガエル科	ヤマアカガエル	上野 多摩	・各園の役割に応じた個体管理を実施。繁殖している。
108	アオガエル科	カジカガエル	上野 葛西 井の頭	・各園の役割に応じた個体管理を実施。繁殖している。
109	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	上野 多摩 葛西	・各園の役割に応じた個体管理を実施。繁殖している。
110	アオガエル科	モリアオガエル	上野 多摩 葛西	・各園とも保全個体群での繁殖に至っていない。
111	メジロザメ科	アカシュモクザメ	葛西	・アカシュモクザメ特有の病気の影響で長期飼育が困難な状況が続いたため、広い水槽での飼育に変更。繁殖に適した健康な個体の育成に着手。 ・マイクロチップによる個体識別を実施。
112	コイ科	ミヤコタナゴ	井の頭	・毎年繁殖、累代飼育に成功している。 ・水生物園ならびに日本産希少淡水魚のシンボリックな存在であり、トークやガイドなどで種の保存の普及啓発を実施。
113	コイ科	ゼニタナゴ	葛西	・毎年繁殖、累代飼育に成功している。 ・産卵に必要な二枚貝の長期飼育にも取り組んでいる。
114	メダカ科	ミナミメダカ	葛西 井の頭	・葛西で調布市産及び葛飾区産の個体、井の頭で杉並区産の個体を飼育。遺伝的攪乱が起きないように配慮しながら繁殖に努めている。 ・東京メダカのホームページを更新。
115	トゲウオ科	ムサシトミヨ	井の頭	・毎年繁殖、累代飼育に成功している。
116	ヨウジウオ科	タツノオトシゴ	葛西	・繁殖可能な個体の育成を目指したが、感染症などの影響により実施できず。近縁種を導入し、飼育試験を行い、種特有の感染症に対する予防法及び治療法についての知見を得た。
117	ベラ科	メガネモチノウオ	葛西	・同居飼育を行っているが繁殖には至っていない。
118	ハゼ科	トビハゼ	葛西	・東京湾産の個体群に絞って飼育し、系統管理して繁殖に取り組んでいる。 ・他の飼育施設と連携して東京湾内生息地の調査を行い、7月に巣穴調査、10月に稚魚調査を実施している。

	科	ズーストック計画 対象種名	取組園	取組状況
119	シジミチョウ科	オガサワラシジミ	多摩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育下における累代飼育を継続していたが、20 世代目で飼育個体群が途絶える。</li> <li>・生殖巣保存プロジェクトに協力。繁殖途絶の原因究明のために DNA サンプルの提供を実施。</li> <li>・小笠原で活動する団体への技術研修などを実施し、域内保全に貢献。</li> </ul>
120	ナンバンマイマイ科	アナカタマイマイ	上野 多摩 葛西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非公開で繁殖に取り組んできたが、2021 年より多摩と葛西で展示開始。</li> <li>・普及啓発用のリーフレット「マイマイの楽園」を作成し配布。</li> </ul>
121	ナンバンマイマイ科	カタマイマイ	葛西 井の頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各園技術的な情報交換を継続しながら飼育条件を整理し、安定的な繁殖を目指して飼育を継続している。</li> <li>・普及啓発のための井の頭で 2021 年より展示を開始。</li> </ul>
122	ミドリイシ科	スギノキミドリイシ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照度や水質など、飼育環境の調整を重ね 2021 年に産卵を確認。</li> <li>・オンラインプログラムでサンゴ礁の危機的状況などについて情報を発信。</li> </ul>
123	アザミサンゴ科	アザミサンゴ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明や水質等の調整を行い、繁殖に向けて飼育環境を整えている。</li> <li>・無性的な増殖は見られるが、産卵には至っていない。</li> </ul>
124	キクメイシ科	キクメイシ	葛西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明や水質等の調整を行い、繁殖に向けて飼育環境を整えている。</li> <li>・無性的な増殖は見られるが、産卵には至っていない。</li> </ul>